



簡易ガイド・課題・事業の拡大

新しい拠点のたびに、新しい書式が増える？ チームは入力ではなく、確認に時間を使えます。

拠点の新設、買収、繁忙期のたびに、書類は増えていきます。この簡易ガイドでは、PaperOfficeが増え続ける書類の流れをどのように受け入れ、既存のアーカイブを取り込み、送信者ごとのテンプレートなしにフィールドを読み取り、確認が必要な書類をチームに示すかを説明します。

要点を一文で

コネクタとインポートが書類を取り込み、拠点ごとのWorkspaceがそれらを分けて管理します。AI-DMSとIDP Agentが読み取り、Workflow Agentが振り分け、チームは確認に回ったものを処理します。

01・課題の内容

書類の量が増えます。 手作業もそれとともに増えます。

新しい倉庫、買収した事業、繁忙期。どの波でも、返品伝票、納品書、請求書が届きます。誰かがすべての書類を開き、打ち直し、保存するなら、書類が一つ増えるたびに作業時間が増えます。新しい担当者の教育は、繁忙期そのものより時間がかかることも少なくありません。

なぜ起こるのか

すべての書類が一件ずつ処理される

アップロード、開封、仕分け、打ち直し、保存。作業量は一件一件の書類に結びついています。書類が増えれば、チームの作業時間も増えます。

送信者ごとに見た目が違う

新しい取引先、新しい書式、買収後の新しいレイアウト。送信者ごとにテンプレートを使うと、成長の一段階ごとに新しいテンプレートを維持しなければなりません。

拠点同士が混ざる

すべての拠点が一つのフォルダーに入ると、誰もが他の拠点の記録を検索することになります。量が増えると、権限、保存、責任の境界があいまいになります。

気づくポイント

- 繁忙期のたびに、処理が遅れた書類が残り、片付けに数週間かかる。
- 新しい取引先や書式は、誰かが慣れるまで入力作業を遅らせる。
- 買収した事業が、誰も目を通さない古いファイルの箱を持ち込む。
- チームは食い違いを解消する代わりに、フィールドを打ち直している。
- 一日にどれだけの書類が届くのか、正確に把握している人がいない。

02・PAPEROFFICEでの進め方

受け入れの流れをつなぎ、 例外を確認する。

一日に一つのフォルダーが届く場合でも、アーカイブ全体が届く場合でも、進め方は同じです。受け入れの流れをつなぎ、拠点ごとにWorkspaceを作り、書類を読み取らせ、欠けている情報がある書類をチームに示します。

1

受け入れの流れをつなぐ

コネクタは、SFTP、WebDAV、S3、またはリバースSSHでフォルダーを監視し、IMAPでメールボックスを監視します。新しいファイルは、設定した間隔で対象のWorkspaceに届き、手動のアップロードは不要です。

モジュール: [CONNECTORS](#)

2

既存のアーカイブを取り込む

インポートウィザードは、ZIPアーカイブ、サーバーのフォルダー、メールボックスを取り込みます。ジョブごとに最大2,000ファイルまで対応し、プレビュー、SHA-256による重複チェック、レポートが付いています。

モジュール: [インポートと移行](#)

3

拠点ごとに一つのWorkspace

各拠点または顧客には、それぞれ独自のAI-DMSティア、独自のグループ権限、独自のWorkspaceタイプを持つWorkspaceが割り当てられます。すべて同じアカウントの中にあります。

モジュール: [WORKSPACES](#)

4

送信者ごとのテンプレートなしで読み取る

AI-DMSが文書の種類を認識します。そのWorkspaceのIDP Agentが、内容から必要なフィールドを読み取り、それぞれに元の位置を付けます。必須のフィールドが欠けている場合、その書類は確認に回されます。

モジュール: [IDP AGENT](#)

5

指示に従って振り分ける

Workflow Agentは、平易な言葉で書かれた指示に従って、移動、名前の変更、タスクの作成を行います。すべての実行は、その手順と所要時間とともに実行履歴に記録されます。

モジュール: [WORKFLOW AGENTS](#)

03・アプリでの操作

受け入れの流れから指標まで、 一つずつ。

ここでは、より多くの量に備えてPaperOfficeを準備する方法を説明します。WorkspaceとConnectorsは一度設定すれば十分です。その後、新しい書類は手動のアップロードなしで届き、読み取られます。

1

拠点ごとに一つのWorkspace

Document AI > Workspaces の下で **新しい Workspace を作成** を使ってWorkspaceを作成し、**AI-DMS** タブで新しい書類に使うティア（例：Premium）を選びます。

2

IDP Agentを割り当てる

同じダイアログの **IDP Agent** タブで、IDP Agentを設定します。選んだ順序で、AI-DMSの後に実行されます。

3

受け入れの流れをつなぐ

Document AI > Connectors の下で **コネクタを作成** を使い、Storage Mountのフォルダーまたはメールボックスを、対象のWorkspaceと間隔とともに選びます。

4

既存のアーカイブを取り込む

Workspaceを選び、**アクション > ドキュメントをインポート** を選択し、ソースを選んでから、確認ステップでファイル数とサイズを確かめて開始します。

5

量と確認を一目で

Analytics AI > アクティビティと処理 には、日ごとのアップロード数とユーザーのランキングが表示されます。文書一覧の **IDP Review** ビューには、未処理のフィールドがある文書が表示されます。

現場からのヒント

まず一つの拠点から、その後は残りへ。まず一つの拠点で手順を設定し、数日間は確認の状況を見てください。フィールドとティアが合ったら、同じ設定で他のWorkspaceを作成します。

04・事例

二つ目の倉庫を 繁忙期の前に。



従業員60名のスポーツウェアのオンライン販売店が、二つ目の倉庫を開きます。返品伝票、運送業者の納品書、請求書が、スキャナーとメールで届きます。返品部門のチームリーダーは五名のチームで作業しており、繁忙期が近づいています。

導入前

- 両方の倉庫のスキャンが、一つの共有フォルダーに入る。
- 返品伝票は一枚ずつ開かれ、一覧に打ち直される。
- チームの誰かが、まず新しい運送業者の書式を説明しなければならない。
- 繁忙期には、まず教育が必要な臨時スタッフが加わる。

PAPEROFFICE導入後

- 倉庫ごとに一つのコネクタが、スキャンをそれぞれのWorkspaceに取り込む。
- IDP Agentが、注文番号、品目、返品理由を、その元の位置とともに読み取る。
- 必須のフィールドが欠けている場合、その書類は確認に回される。
- チームリーダーは日ごとのアップロード数を確認し、確認作業をチーム内で振り分ける。

説明のための架空の例です。どのフィールドを必須にすべきか、また記録にどのAI-DMSティアが必要かは、ご自身の文書で確認してください。

05・チェックリスト

次の書類の波に 備えはできていますか？

理想的には、次の拠点、次の買収、次の繁忙期の前に、これらの点を決めておきます。

- | | |
|--|--|
| ☐ 今日、書類はどの経路で届いていますか：スキャナー、NAS、メールボックス、アップロード、バケット？ | ☐ どの拠点、部門、または顧客に、別々の権限が必要ですか？ |
| ☐ 各Workspaceの書類には、どのAI-DMSティアが必要ですか？ | ☐ すべての書類が必ず提供すべきフィールドはどれで、そのうちどれが必須ですか？ |
| ☐ 必須のフィールドが欠けている書類は、誰が処理しますか？ | ☐ どの既存のアーカイブを取り込み、どのWorkspaceに入れるべきですか？ |
| ☐ 原本はお客様自身のストレージに残すべきですか？その場合は、インデックスモードのコネクタが適しています。 | ☐ インポート後、元のファイルはどうすべきですか：保持、移動、削除？ |
| ☐ 読み取りの後のどの手順を、Workflow Agentに任せられますか？ | ☐ 誰が定期的に、受け入れの量と未処理の確認を見ますか？ |

06・よくある質問

拡大の前に 決めておくこと

繁忙期には何が起こりますか？

コネクタは、設定した間隔で新しいファイルを取得します。インポートモードでは一分間隔から設定できます。すべてのファイルは、そのWorkspaceのAI-DMSティアを通ります。チームは、自分のペースで確認作業を進めます。

拠点や顧客をまたいでも拡張できますか？

はい、Workspaceを通じて可能です。各Workspaceは、独自のAI-DMSティア、独自のグループ権限、標準からコンプライアンスまでのWorkspaceタイプを持ちます。新しい拠点は、同じアカウントの中にもう一つのWorkspaceを作るだけです。

ファイルは、自社のストレージに残せますか？

はい。インデックスモードのコネクタは、原本をお客様のストレージに残したまま、検索可能にし、すべての変更を追跡します。同期ごとに最大200,000ファイルまで対応します。

既存のアーカイブはどのように取り込まれますか？

インポートウィザードを通じてです。最大5 GBのZIP、Storage Mountのフォルダー、またはメールボックスから、ジョブごとに最大2,000ファイルまで取り込めます。大きなアーカイブは、それぞれ独自のレポートを持つ複数のジョブに分けてください。

新しい取引先には、新しいテンプレートが必要ですか？

IDP Agentが内容からフィールドを読み取り、フィールドは平易な言葉で説明できます。**すべてのテストを実行**で、読み取りが一貫しているかを確認できます。ご希望であれば、同じ書類に対して連続10回まで実行できます。

作業量はどのように把握しますか？

Analytics AIの**アクティビティと処理**には、日ごとのアップロード数、稼働日数、ユーザーのランキングが表示され、CSVでエクスポートできます。ページ数、ストレージ、傾向はREST APIから取得できます。Analytics AIは、コーポレートプランに含まれています。

07・始め方

最も多くの紙を運んでくる拠点から始めましょう

その拠点のWorkspaceを作成し、受け入れの経路をコネクタでつなぎ、最初の書類を読み取らせてください。料金は利用量に基づきます。詳細は料金ページに記載されています。

データシートを読む

コネクタ、インポート、Workspace、IDP Agent、Workflow Agents、Analytics AIには、それぞれ独自のデータシートがあり、メニューの操作手順が記載されています。

古いアーカイブでテストする

典型的な書類の小さなZIPで十分です。最初のインポートを行い、AI-DMSがそこから何を読み取るかを確認できます。

一緒に計画する

複数の拠点や顧客がある場合は、連絡先ページを通じて、Workspaceの構成を一緒に計画させていただきます。

関連データシート

Connectors

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-connectors-ja.pdf

インポートと移行

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-import-migration-ja.pdf

Workspaces

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-workspaces-ja.pdf

IDP Agent

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-idp-intelligent-document-processing-ja.pdf

Workflow Agents

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-workflow-agents-ja.pdf

Analytics AI

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-analytics-dashboard-ja.pdf

このテーマの関連情報

事業の拡大

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/problem/ai-scaling-automation-growth-solution



このテーマの関連情報

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/problem/ai-scaling-automation-growth-solution

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase